

看護部 集合研修体系図

集合研修

e-ラーニング

能力	レベル	新人	I	II	III	IV	全体研修	病院
		必要に応じ助言を得て実践する	標準的な実践を自立して行う	個別の状況に応じた判断と実践を行う	幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる	より複雑な状況において、創造的な実践を行い組織や分野を超えて参画する		
専門的・倫理的・法的な実践能力	アカウンタビリティ(責務に基づく実践)	説明責任を果たすIC説明方法とは				→		
		自身の能力の判断に基づき行動する責任				→		
	倫理的実践	看護職の倫理綱領	倫理研修①	倫理研修②	倫理研修③	倫理研修④		暴力・ハラスメント研修
	法的実践							個人情報コンプライアンス
臨床実践能力	ニーズをとらえる力	看護過程	看護過程研修①	看護過程研修②	臨床判断プロセス			
	ケアする力	看護技術研修					認知症摂食嚥下	褥瘡研修
	協働する力		多重課題研修② 退院支援研修					
	意思決定を支える力					ACP研修		意思決定支援研修
労災 院独自 病	勤労者看護	勤労者概論	勤労者看護研修①	勤労者看護研修②	両立支援		治療両立支援	
マニ ジ ン グ シ ス ト ム と プ ラ ン ナ ー の 力	業務の委譲/移譲と管理監督		多重課題研修②					
	安全な環境の整備		防災研修					医療安全研修 感染対策研修
	組織の一員としての役割発揮		メンバーシップ	リーダー研修		マネジメント		
専門性の開発能力	看護の専門性の強化と社会貢献		看護研究	看護研究	院外研修 看護研究			
	看護実践の質の改善						伝達	
	生涯学習	看護職のキャリアデザイン:専門職としての生涯学習				→		
	自身のウェルビーイングの向上	ストレスマネジメント						